

エ ピ ロ ー グ

さて、これまで 11 回に渡り配信してきました、
電子小説「先生の成功ノート」、
いかがでしたでしょうか？

改めて、ここまでお付き合いいただきまして、
本当にありがとうございました。

以前、私自身のストーリーを
メルマガで配信したことはあったのですが、

私以外の主人公のストーリー、
しかも架空の主人公、"京子"のストーリーを
配信するというのは初めての試みで
どんな反応がいただけるのかなど、
楽しみだったのですが、
予想以上の反響にびっくりしております。

これまで読んでくれた方、
感想などのメールをくれた方々、
本当にありがとうございました。

ちなみに、今日の内容で久美子先生が話している、
幼少期の食生活は、実は私の幼い頃の実話です。

両親の仕事が忙しいばかりに
私たちの食事は後回しといった感じでした。

子供としては、

「もっと愛情をかけて。」

って言いたくても言えない。

昔の私はそんなことをいつも思っていました。

親の仕事の影響を一番受けるのは

実は子供だったりします。

これまでたくさんの先生を
指導させていただく中で、

私のような幼少期を過ごした方が
非常に多いということ。

そうならないために教室を始めたのに、
同じようなことを子供にできてしまっている。

そういう方が結構な数いらっしゃる。

切なくてなりません。

だからこそ、私は自分の経験から、
そんな状況になってしまっている方の

人生を好転させたい。

気分が上がる教室運営、
新しいカタチの働き方の提案をしたい。

そんな思いで日々仕事をさせてもらっています。

" つい子供にイライラしてしまう "

" ご主人さんとの関係がギクシャクしがち "

そんな時はたいていの場合、
教室運営にも問題が起こりがちです。

教室内での講師の行動と
日常の講師の行動は
写し鏡のように対になっているんですね。

だったら教室運営を良くしながら
日常生活まで良くできるような働き方を。

あなたの教室がそうなるためのヒントを
この小説から感じてもらえたのなら
こんなに嬉しいことはありません。

最後にこの小説を書くためのエピソードを
私にくれた多くの先生方。

私の仕事を応援してくれる主人、息子、
そしてコミュニティのメンバーさん。

このストーリーが書けたのはみんなのおかげです。

本当にありがとうございました。

2018 年吉日

習い事心理アドバイザー
倉地加奈子